

F I S コンチネンタルカップスキージャンプ (男子) ルール

凡例：C O C J - M = コンチネンタルカップスキージャンプ(男子)

1 大会地のエントリー、指名及び日程 (カレンダー計画)

1.1 コンチネンタルカップスキージャンプ

- 1.1.1 各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へC O C J - M大会(個人戦)の申請をする権利を有する。
- 1.1.2 大会の申請は、大会の2年前に公式のFISエントリー用紙で行なわれなければならない。
- 1.1.3 同日にC O C J - M大会1試合のみを開催することが出来る。
- 1.1.4 各シーズン最後のC O C J - M大会が、C O C J - Mファイナルとして行なわれる。C O C J - Mファイナルと関連して、C O C J - M総合表彰式が行なわれる。

1.2 C O C J - M大会地の指名

- 1.2.1 カレンダー計画小委員会は、以下を検討する：
 - 有効なジャンプ台公認証を有し、C O C J - M大会として当該ジャンプ台が適しているか。
 - 宿泊能力及び競技場の観客アピール度。
 - 競技組織の基準。
- 1.2.2 この評価結果と提案日程により、カレンダー計画小委員会は今後2年間の暫定C O C J - M大会スケジュールを作成する。現シーズンの最終的なC O C J - M大会カレンダーは、F I S 理事会の承認が必要である。

2 C O C J - M大会参加権利

2.1 FISコード所有選手のみエントリーすることを認める。

各国スキー連盟は、自国選手のC O C J - M大会出場選手としての適性及び使用ジャンプ台を扱う能力に対し全ての責任を持つ。

2.2 参加が認められる選手：

- a) 既にWC , GP、COCJ - Mポイントを獲得している選手。
- B) 昨シーズン又は現シーズンで最低1点でもFISカップポイントを獲得した選手。

2.3 各国スキー連盟の参加人数

参加人数は、コンチネンタルランキングリスト (CRL) に従い、ピリオドごとに計算される。2.3条参照、

計算の基本：

- CRL上位50選手
- ネーションクォータが4名未満又はゼロの国は、最大4名までエントリーする権利を有する。
- ホスト国は、ナショナルグループ8名(グループ1)を追加としてエントリーする権利を有する。
- ホスト国の最大スタート人数は、16人となり、その他の国は、最大8名までとする。
- 1カ国において2試合を超えるCOCJ-M大会が行なわれる場合、ホスト国はナショナルグループをシリーズごと(サマーCOCJ-M又はウインターCOCJ-M)最大2試合までエントリーする権利を有する。合計で4試合以内とする。

2.4 コンチネンタルランキングリスト

クォータ計算は、コンチネンタルカップランキングリストに従い行なわれ、下記基準に沿ってなされる。

- ポイントシステムは、現行のCOCJ - Mスタンディングと同様とする。
(1位 100点、30位 1点)
- 前COCJ-Mシーズンの6つのピリオド(冬5ピリオド、夏1ピリオド)の競技結果は、現COCJ-Mシーズンの6ピリオドの競技結果により徐々に取って代わっていく。
- この更新手順は、各ピリオド後繰り返される。
- CRLの上位50選手がクォータ計算に考慮される。
- ネーションクォータは、続くそのピリオド内で有効であり、現行競技結果に影響されない。

3 COCJ-M 評価

3.1 個人戦

1位	100点	11位	24点	21位	10点
2位	80点	12位	22点	22位	9点
3位	60点	13位	20点	23位	8点
4位	50点	14位	18点	24位	7点
5位	45点	15位	16点	25位	6点
6位	40点	16位	15点	26位	5点
7位	36点	17位	14点	27位	4点
8位	32点	18位	13点	28位	3点
9位	29点	19位	12点	29位	2点
10位	26点	20位	11点	30位	1点

3.1.1 同得点者が複数の場合、各選手には、その順位に応じるポイントが与えられる。(次の順位は省略される。)

3.1.2 C O C J - M 評価 (ポイント対象) の大会とみなされる為には、最低 8 カ国が参加しなければならない。

3.1.3 コンチネンタルカップスタンディング

現シーズンの全個人戦での C O C J - M ポイントは、サマーと冬で分けられ、C O C J - M 総合優勝者を決めるにあたり、合計される。

C O C J - M スタンディングで複数と同得点であれば、各大会の良い順位がランキングを決める為に使われる。それでも同順位であれば、スタート順は、抽選となる。

4 競技方法及びスタート順

C O C J - M 大会は、ICR452 条 (個人戦及び団体戦) に従い、以下の項目も含め実行されなければならない。

4.1 個人戦において、選手を 3 つのグループに分ける。グループの順番は以下とする。

グループ 1 ホスト国

グループ 2 (C O C J - M ポイントがない選手)

グループ 3 (C O C J - M ポイントがある選手)

グループ内のスタート順は以下とする。

グループ 1 ドロー又はシード

グループ 2 ドロー

グループ 3 現在の C O C J - M スタンディングの逆順。C O C - M スタンディングに入り次第、ランキングに沿ってグループ 3 にシードされる。そのシーズンの最初の大会は、昨シーズンの最終 C O C J - M スタンディングにより決められる。

4.2 2本目(最終ラウンド)において、1本目の上位30人のみが2本目にすすめる(プラス最終予選通過順位同点者)。選手は1本目と同じゼッケンを着用し、1本目の獲得得点の逆順でスタートする。

最長不倒の95%に達し予選通過すべきところ、転倒した選手は上位30人に加えて競技に参加する権利がある。

4.3 2本目は、1本目終了後20分以内で始めなければならない。時間通りにスタート出来ない選手は、失格となる。

5 COCJ - M賞

5.1 COCJ - M総合優勝者は、サマーと冬で分けられ、コンチネンタルカップトロフィーをもらう。

上位3選手にFISメダルを与える。

上記のトロフィー、メダルは、FISが用意する。

コンチネンタルカップトロフィー及びメダルは、ファイナル(最終戦)でのみ授与される。

6 COCJ - M費用の支払い

6.1 各COCJ - Mオーガナイザーは、下記に従い参加国に以下の費用を負担しなければならない。

- 全てのエントリー選手 (ナショナルグループは除く)
- 一カ国につき役員2名

6.1.1 宿泊

大会期間中すなわち最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、上質のホテルで部屋と3食を提供する。招待状及びインフォメーションパックが、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりそれぞれが望む部屋数の予約が確実となる。

予約した部屋を使用しなかった場合、組織委員会は、そのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ。

組織委員会又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは、認められない。

6.1.2 輸送

組織委員会は宿泊先と競技会場間のシャトルサービス (定期往復便) を提供し継承しなければならない。

6.2 COCJ - Mピリオド

第1ピリオド 2008年 7月4日～2008年10月12日 ヴェレニア (SLO) - フェルン (SWE)

第2ピリオド 2008年12月8日～2008年12月21日 ヴァルコエミ (FIN) - リハレット (CZE)

第3ピリオド 2008年12月27日～2009年1月4日 エンゲルハルト (SU) - フラウンラゲ (GER)

第4ピリオド 2009年 1月9日～ 2009年1月25日 札幌 (JPN) - クラコ (SLO)

第5ピリオド 2009年 1月31日～2009年3月1日 テイティン・ノイシュタット (GER) - ヴァイスワ (POL)

第6ピリオド 2009年 3月7日～ 2009年3月22日 トロンハイム (NOR) クアサエ (FIN)

6.3 TD、TDアシスタント及び外国人飛型審判への旅費、宿泊費の支払いは、ICR405.4条に従って支払われなければならない。

7 COCJ - Mスポンサー

7.1 FIS は、コンチネンタルカップスポンサーのスポンサー権に対してFISとスポンサー会社/代理店との間で契約を結ぶ事が出来る。

7.2 全関係者が考慮、遵守しなければならない対応する広告の要点は、FISと各加盟スキー連盟及び組織委員会/スキークラブとの間で結ばれた“主催者(オーガナイザー) 契約書”に明記される。

8 COCJ - Mコントロール及びレポート

8.1 各COCJ-Mオーガナイザーは、シーズン前に自国のプレス通信社と連絡を取り、大会終了後直ちにそのプレスが、結果表又は最低でもCOCJ - Mランキングリストを配信することを、確認しなければならない。

8.2 国際スキージャーナリスト連盟(AIPS)及び国際スキー連盟の推奨とガイドラインに従い、プレス・メディアサービスを組織し、実施しなければならない。

8.3 TDは、COCJ-M大会をコントロール(統制)し、レポートする責任がある。結果表を含めFISオフィスに文書でレポートを大会地から急送しなければならない。

8.4 各COCJ-Mオーガナイザーは、大会終了後直ちに、結果表をFISオフィスと次の開催オーガナイザーに電子メール又はファックスで送る義務がある。

8.5 各 COCJ-M 大会後、COCJ-M コーディネーターは、COCJ 総合評価の新しい順位表を計算する責任があり、競技終了後直ちに、それを次の COCJ-M オーガナイザー及び F I S オフィスに送らなければならない。

8.6 コントロール

FIS は COCJ-M コーディネーター一名を指名し、その者は、ジャンプの TD ライセンスを所有していなければならない (ICR403.5 条)。

COCJ-M コーディネーターはジャンプレースディレクターに報告する。

各オーガナイザーは、COCJ-M コーディネーターの宿泊、食事代、旅費を支払わなければならない。

賞金：1,500 スイスフラン 上位6選手で配分